

野球部「ホームラン7月号」に 紹介される！！

(株)廣濟堂出版「ホームラン7月号」(平成30年6月20日発行)第100回夏の甲子園全国56地方大会完全予想特大号 に本校の野球部が“注目校”として紹介されました。

注目校
ミニルポ

秋田修英
◎あきたしゅうえい

県に2校しかない私学野球部の一つ
かつての甲子園監督に率いられ着実に前進



春の県大会、秋田商との開幕ゲームは1対6で敗れた。中盤まで1対2と競ったが、7回に失策が重なって4失点。鈴木寿宝監督は「守備のミスは不安要素だった。ピンチになったり、劣勢になったりすると力が足りない。守備力も含め、勝負強さがほしい」と奮起を促した。

秋田県内には私立高校が5校しかない。そのうち、野球部があるのは2校。1つが明桜で、もう1つが秋田修英だ。大仙市にあり、秋田市以外の唯一の私立校でもある。

指導する鈴木監督は秋田経法大付(現明桜)の出身。同校が1981年春夏と甲子園に初出場した時の主将で、法大を経て87年、監督に就任。春夏合わせて8度

の甲子園出場に導き、89年夏には4強入りした。ソフトバンク・摂津正などプロ野球選手となった教え子もいる。秋田修英の監督には2010年に就任した。当時の部員はわずか2人だった。

鈴木監督の就任とともに、学校はスポーツコースを導入。週5日のうち、3日は5時間目にスポーツコースの授業として野球の練習ができる環境だ。「今を全力で」をモットーに指導し、夏は15年から3年連続で8強入り。部員数は50人以上になり、年々力をつけている。「まだ一つの壁を越せないが、ちょっとずつチーム力は上がっている」と指揮官。野球に力を入れる秋田のもう一つの私学として存在感を示していく。